

第1学年国語科学習指導案

日 時 平成21年10月14日(水) 5校時
児 童 第1学年 男2名 女6名 計8名
授業者 及 川 勇

1、単元名 くらべて よもう(光村1上)

教材名 主教材 「じどう車くらべ」

補助教材 はたらくじどう車スーパーずかん 全5巻(ポプラ社) 他

2、単元について

(1) 児童観

児童は、これまで1学期に「いろいろなくちばし」で、説明的文章の基本的な「問い」と「答え」の形式を学習してきた。そして、国語の学習を通して、音読活動や文章を書く活動に意欲的に取り組み、読むことや書くことの力が少しずつ身に付いてきている。しかしながら、自分から進んで自分の考えを発表したり、友達の発表を聞きそれに準じて発表したりする児童は少ない。音読については、ほとんどの児童が大きな声で正しく読むことができるようになってきているが、さらに語のまとまりに気をつけて音読練習をし、文の意味がわかる読み方ができるように取り組んでいるところである。また、文章の「問い」と「答え」という説明の仕方に気付き、主語・述語に着目しながら説明されている事柄を正確に読み取り書いてまとめることは、まだ十分とはいえず、指導を必要とする。

(2) 教材観

本教材「じどう車くらべ」は、この時期の子どもたちの興味・関心の対象として身近なものの一つ、自動車を取り上げた説明的文章である。説明の仕方は、「話題・問題提起」と「問題に対する説明」を自動車の「しごと」と「つくり」という二つの事柄が関連づけられて述べる形をとっている。また、条件や理由を表す接続語「そのために」を用い、自動車の機能と構造を関連づけて考えられるようになっている。それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を比べて読むことによって、その自動車の特徴が明らかになり、さらに説明的な表現の仕方を学んでいく。

本単元の終末では、他の自動車を選んでそれについて書くことを呼びかけ、児童の作品例を示している。児童の興味・関心を生かし、読書活動に結びつけて自分で調べ、本教材で学んだ「しごと」と「つくり」の文章表現上の順序を生かしながら、自動車図鑑を作って表現する発展的な学習活動へつなげるのに適した教材といえる。

(3) 指導観

本単元では、内容を理解しながら説明的文章の形式に慣れ、教材文の文章の組み立てを真似しながら、自分の選んだ自動車を説明する文章を書く力を身に付けさせたいと考える。そのために、各段階においては、以下の点に留意して指導していく。

「つかむ」段階では、知っている自動車を発表し合い、自動車に対する興味・関心を高め、自動車図鑑作りをするという目的意識を持たせる。また、自動車についての二つの問い(「しごと」と「つくり」)の意味を理解させ、子どもたちが教材文の内容に対するイメージをもつことができるようにする。

「ふかめる」段階では、読み取りの視点として「どんなしごとをしているのか。」「そのためにどんなつくりになっているのか。」を意識させて、3種類の自動車について読み取っていく。「一人学び」では、自動車の「しごと」と「つくり」を見つけ、サイドラインを引く活動を取り入れる。「学び合い」では、自動車にはたくさんの「つくり」があるが、教材文にある「しごと」を成し遂げるにはどんな「つくり」が必要か話し合わせ、読み取りの視点を絞りながら、自動車カードにまとめていく。いろいろな自動車の「しごと」と「つくり」を比べることにより、自動車への興味・関心を深められると考える。

「ひろげる」段階では、前時までの学習を生かし、はしご車の「しごと」と「つくり」を説明する文章を書く。その後、自分の好きな自動車を選んで、その自動車の説明を「しごと」と「つくり」に分けて調べ、それを文章と絵に表した自動車カードに書く。最後に表紙や目次を付けて自動車図鑑を作成できるようにする。また、自動車図鑑の発表会を開くことで、友達の文章の良さを見つけたり、自分には興味なかった自動車についても知ることができたりすると考える。

本校が作成した指導内容系統表において、本単元で重点的に指導する項目は、語①「主語・述語を見つける」、語⑤「絵と文を対応させる」、語⑥「問いと答えを見つける」、要①「繰り返し出てくる言葉を見つける」である。

3、単元の指導目標・評価規準

(1) 主目標

自動車の「しごと」と「つくり」を比べながら読み、ほかの自動車を説明する文章を書く。

(2) 観点別目標と評価規準

観 点	目 標	評 価 規 準
国語への関心・意欲・態度	○いろいろな自動車の「しごと」と「つくり」に関心をもち、進んで教材文を読んだり、図鑑などを見たりしようとする。	①身近な自動車に関心をもち、自動車の「しごと」と「つくり」を学ぶことによって、他の自動車の「しごと」と「つくり」にも興味・関心を広げようとしている。
読む能力	◎3種類の自動車について、「しごと」と「つくり」の関係を考えながら内容の大体を読むことができる。(イ) ○語や文としての意味を考えながら声に出して読むことができる。(ア)	①自動車の「しごと」と「つくり」にサイドラインを引きながら、それらを関連付けて読んでいる。 ②語や文のまとまりを考えながら、音読している。
書く能力	◎教材文を参考にして、簡単な組み立てを考えて、好きな自動車の「しごと」と「つくり」を説明する文章を書くことができる。(ウ)	①語や文の続き方に注意しながら「しごと」と「つくり」を説明する文章を書いている。
言語活動に関する知識・理解・技能	◎片仮名で書く語を読んだり書いたりすることができる。(ウ(ア))	①片仮名で書く語を、文や文章の中で使っている。

4、単元の指導・評価計画 (11時間)

段階	時間	目 標	学 習 活 動 (・主な学習活動 ※指導上の留意点)	評 価 規 準 (評価方法)
つかむ	1	自動車に興味をもって話し合い、一人一人が自動車図鑑を作ることを知る。	「じどう車ずかん」をよんで、知っているじどう車についてはなしあおう。 ・題名やリード文からいろいろな自動車について比べて書かれていることを知る。 ・挿絵を見ながら、知っている自動車の名前を挙げ、どんな自動車があるか話し合う。 ・教師の範読後、一人一人が自動車図鑑を作るという活動目標を知る。 ※自動車カードや図書の図鑑を見せて、自動車図鑑への理解と関心を深めさせる。	[関①]いろいろな自動車の特徴を見つけ、自動車に興味・関心をもちながら読んでいる。(観察、発言、音読)
	2	自動車図鑑を作る計画を立て、新出漢字や片仮名の書き方を覚える。	じどう車ずかんをつくるけいかくをたてよう。 ・全員で音読し、問いと答えの関係に気づき、文章の構成をつかみ、段落に番号をふる。 ・学習計画を立てる。 ・新出漢字や片仮名を押さえる。	[言①]片仮名で書く語を正しく読んだり書いたりしている。(発表、ノート)
ふかめる	3	バスや乗用車の仕事とつくりを読み取ることができる。	バスやじょうよう車のじどう車カードをつくらう。 ・バスや乗用車の仕事とつくりを「そのために」の言葉と関連させて読み取る。 ・「しごと」と関連した「つくり」のよさ・特徴を話し合う。 ・サイドラインの引き方を確認する。 ・P93を視写し、自動車カードを作る。 ※P97の作例の形式にならない、A4判のカード1枚にかく。これを図鑑のカードの1枚とし、次以降もカードを作らせる。	[読①]バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を結びつけながら、内容を読み取っている。(発言、観察) [読①]「しごと」と「つくり」を見つけサイドラインを引き、それらを自動車カードにまとめている。(発表、カード)

ふかめる	4 トラックの仕事とつくりを読み取ることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">トラックのじどう車カードをつくろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> トラックの仕事とつくりを「そのために」の言葉と関連させて読み取る。 「しごと」と関連した「つくり」のよさ・特徴を話し合う。 バスや乗用車と比べながら読み取る。 P 9 4を視写し、自動車カードを作る。 <p>※挿絵から、荷台やタイヤの様子に注目させる。</p>	<p>[読①]トラックの「しごと」と「つくり」を結びつけながら、内容を読み取っている。(発言、観察)</p> <p>[読①]「しごと」と「つくり」をみつけサイドラインを引き、それらを自動車カードにまとめている。(発表、カード)</p>
	5 クレーン車の仕事とつくりを読み取ることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">クレーン車のじどう車カードをつくろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> クレーン車の仕事とつくりを「そのために」の言葉と関連させて読み取る。 「しごと」と関連した「つくり」のよさ・特徴を話し合う。 バスや乗用車、トラックと比べながら読み取る。 P 9 5を視写し、自動車カードを作る。 <p>※挿絵から、うでや足の様子に注目させる。</p>	<p>[読①]クレーン車の「しごと」と「つくり」を結びつけながら、内容を読み取っている。(発言、観察)</p> <p>[読①]「しごと」と「つくり」をみつけサイドラインを引き、それらを自動車カードにまとめている。(発表、カード)</p>
ひろげる (本時)	6 前時までの文章の組み立てを参考にして、はしご車の「しごと」と「つくり」を説明する文章を書くことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">はしご車のじどう車カードをつくろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> はしご車の「しごと」と「つくり」を調べ、前時までの文体を想起しながら、はしご車の「しごと」と「つくり」のよさ・特徴を見つけさせる。 他の自動車と比べながら、読み取る。 「しごと」と「つくり」の文章を書き、自動車カードを作る。 <p>※挿絵を見ながら、はしご車は何をするときの車かを考えさせ、そのつくりの特徴を見つけさせる。</p>	<p>[書①]はしご車の「しごと」と「つくり」について関連付けながら説明する文章を書いている。(発表、カード)</p>
	7 学級文庫や図書館で自動車の本を探して、好きな自動車の「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">じどう車カードにかきたいじどう車をえらぼう。</div> <ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな自動車の自動車カードを作るために、自動車の本を探して読む。 好きな自動車を選び、「しごと」と「つくり」を読み取る。 <p>※本や自動車を選ぶ時間を十分にとり、必要に応じて一緒に探したり、助言したりする。</p>	<p>[関①]本を選んで読み、自動車カードに作りたい自動車を決めている。(観察、発言)</p> <p>[読①]自動車を選び、「しごと」と「つくり」について読み取っている。(観察、発言)</p>
10	9 自分の選んだ自動車について、「しごと」と「つくり」を見つけて説明する文章を書き、自動車図鑑を作ることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">すきなじどう車のじどう車カードをかき、じどう車ずかんをつくろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> 好きな自動車を選び、「しごと」と「つくり」をカードに書く。 絵をかく。一つ終わったら、次の自動車を選び、同じようにやっていく。 <p>※「しごと」は1文、「つくり」は2文で書かせ、「つくり」と「しごと」に関連があるかどうかを確かめさせる。(他の自動車とも比べながら)</p> <ul style="list-style-type: none"> カードにページを入れ、表紙と目次を作る。 表紙と目次、自動車カードを合わせて、自動車図鑑を作る。 	<p>[書①]自分の選んだ自動車の「しごと」と「つくり」を説明する文章を書いている。(発表、カード)</p> <p>[関①]自分の自動車図鑑に合わせた表紙と目次を書いている。(観察、カード)</p>
	11 自動車図鑑にまとめたことを、自動車図鑑発表会で友達に紹介することができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">じどう車ずかんはっぴょうかいをしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> できあがった自動車図鑑を友達や2年生へ発表する。 <p>※友達の発表から自動車の「しごと」と「つくり」を見つけながら聞くようにさせる。</p> <p>※相手に伝えようとする意識を持たせる。</p>	<p>[関①]聞き手に分かりやすく伝え、また話し手のよさを見つけている。(観察、発表)</p>